

雲仙岳の地殻変動

Crustal Deformations of Unzen Volcano

国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

第1図は、阿蘇山周辺におけるGNSS連続観測結果である。

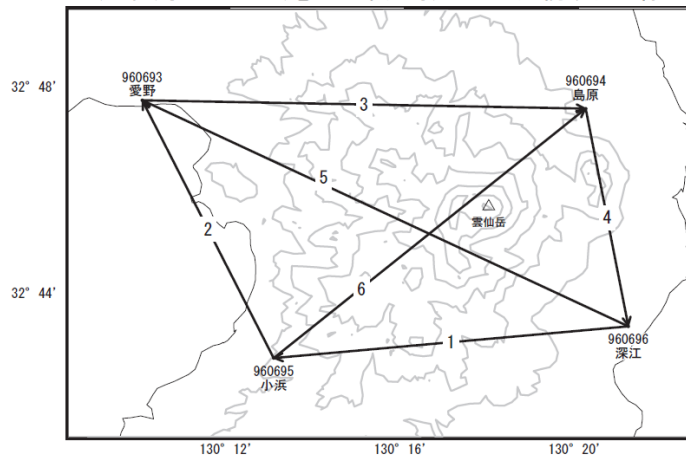
第1図の上段に基線の配置を示した。第1図上段は、第1図に示した基線の基線長変化グラフであり、左列は最近約5年間（2014年9月～2018年12月）の時系列、右列は最近約1年間（2017年12月～2018年12月）の時系列である。GNSS連続観測結果には特段の変化は見られない。

第2図は、「だいち2号」のSAR干渉解析結果である。平成新山周辺で収縮とみられる衛星から遠ざかる変動が見られる。

謝辞

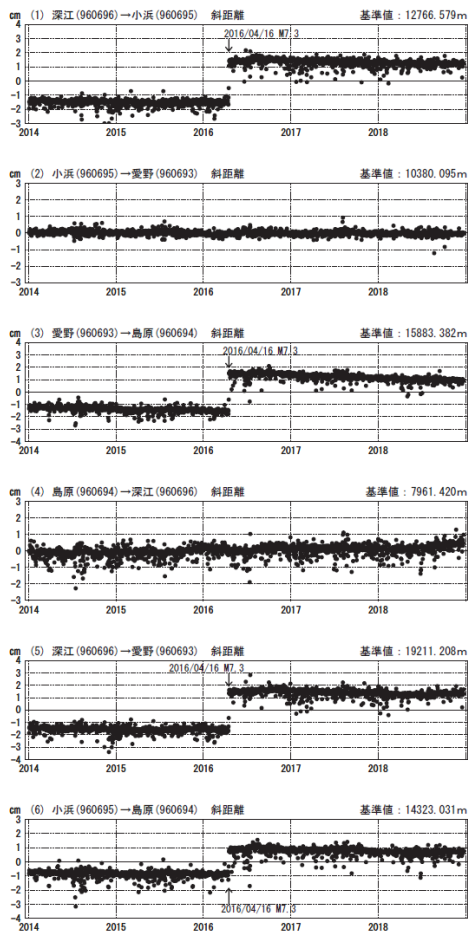
ここで使用した「だいち2号」の原初データの所有権は、JAXAにあります。これらのデータは、「だいち2号」に関する国土地理院とJAXAの間の協定に基づき提供されました。

雲仙岳周辺GEONET(電子基準点等)による連続観測基線図



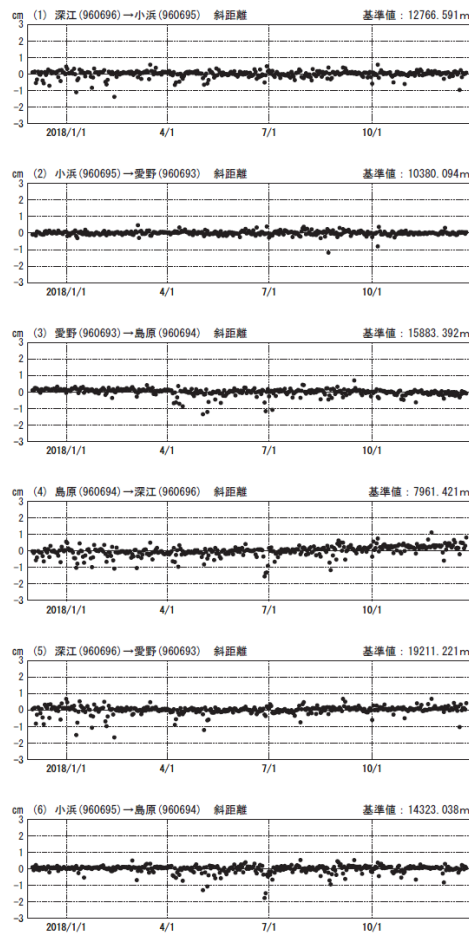
基線変化グラフ(長期)

期間: 2014/01/01~2018/12/23 JST



基線変化グラフ(短期)

期間: 2017/12/01~2018/12/23 JST



●—[F3:最終解] ○—[R3:速報解]

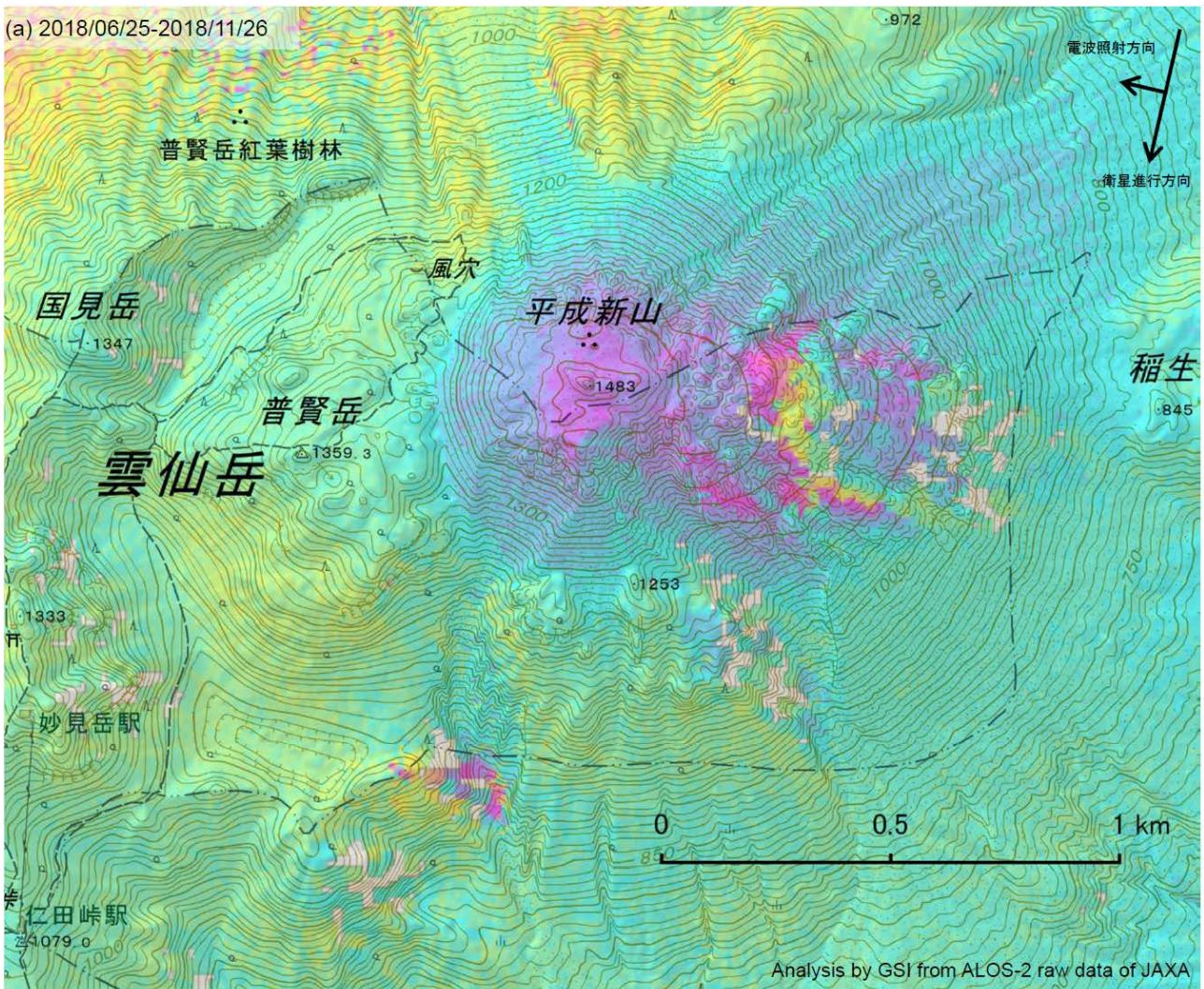
国土地理院

※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図 雲仙岳周辺のGNSS連続観測基線図(上段)、GNSS連続観測による基線変化グラフ(下段)

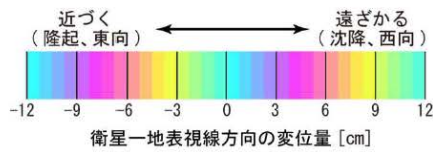
Fig.1 (upper) Site location map of the continuous GNSS observation network of Unzen Volcano;

(lower) Time series of baseline length (left) from January 2014 to December 2018, (right) from December 2017 to December 2018.



	(a)
衛星名	ALOS-2
観測日時	2018/06/25 2018/11/26 12:19頃 (154日間)
衛星進行方向	南行
電波照射方向	右
観測モード*	U-U
入射角	40.1°
偏波	HH
垂直基線長	-304 m

*U: 高分解能(3m)モード



背景: 地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

第2図 「だいち2号」 PALSAR-2 による雲仙岳周辺地域の解析結果
Fig.2 SAR Interferograms of ALOS-2 PALSAR-2 of Unzen Volcano.